

福

伝える

社

みえ

つなげる

え

No. 402

2月号
2025年

ひびきあう



テーマは
「旅行先の景色や思い出」
三重県内の風景や美味しいもの、
おすすめスポットなどを
ぜひ、おすそ分けください！

写真の投稿はこちらから >>>

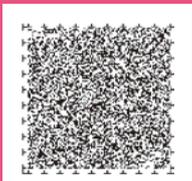
あなたの写真が世界への冒険を共有し、
福祉の魅力を広める一役を担うかもしれません！

今日の表紙写真は、マラソンに参加
した方からの投稿です。
「伊勢、走る、感じる。」お伊勢さん
マラソンの様子をお届けします。

contents

- 特集：福祉・介護の魅力発信事業「ナゾときカイゴ探偵団」…… 2
- information …………… 5
- 連載：福祉レストラン …………… 6
- ありがとうメッセージ …………… 8

福祉みえでは、2～4ページの
特集記事に uni-voice による
音声コードを導入しています。



Uni-Voice音声コード

ふれあいネットワーク

社会福祉法人 三重県社会福祉協議会



厚生労働省は、令和6年7月に第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数^{※1}を公表しました。(図1)これによると、2022年度の介護職員数が約215万人であるのに対し、2026年度は約240万人(+約25万人)、団塊ジュニアの世代が高齢者となる2040年度には約272万人(+約57万人)の介護職員が必要になると推計されています。()内は2022年度比

なお、三重県においては、2022年度の介護職員数が32,584人、2026年度は34,344人、2040年度には36,397人必要になると推計されており、介護人材の確保は喫緊の課題です。

こうした状況を踏まえた国における対策の1つに介護職の魅力向上(学生やその保護者、進路指導担当者等への介護の仕事の理解促進等)があります。

今号では、本会に設置する三重県福祉人材センター(以下、「人材センター」という。)において実施している福祉・介護の魅力発信事業(三重県委託事業)の一環である、福祉・介護の仕事学習セミナーの新たなコンテンツ作成の取組みについて紹介します。

※1 これは、第9期介護保険事業計画の介護サービス見込み量等に基づき、各都道府県が推計した介護職員の必要数を集計したものです。



出典「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」

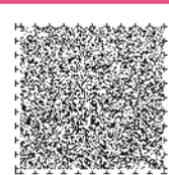


表1 福祉・介護の仕事学習セミナー実施件数の推移

単位：回

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
小学校	0	1	3	6	2
中学校	16	3	3	9	11
高校	8	11	11	12	9

福祉・介護の仕事学習セミナーは、主に県内の小学校、中学校、高等学校の生徒等を対象に、福祉・介護の職場で働く職員等が仕事内容、仕事のやりがいや魅力等を伝えるものです。

より若年層に対し福祉・介護の魅力を発信したいと考えていますが、依然として小学校の生徒に向けた実施が少ない状況です。(表1)

また、人材センターとして、小学校に向けて提案できる介護の仕事の魅力を伝えるコンテンツがないことも課題でした。

福祉・介護の仕事学習セミナー

福祉・介護の仕事学習セミナーの小学生向けコンテンツの作成

このような状況を踏まえ、令和6年度は、小学生が福祉・介護の仕事に興味を持つきっかけを提供するコンテンツ「ナゾときカイゴ探偵団」を作成・実施することとしました。

特徴と内容

ナゾときカイゴ探偵団は、「謎解き」の要素を介護の職業体験と組み合わせたコンテンツであり、介護の仕事を楽しみながら学んで、介護の仕事について理解・関心を深めるきっかけとすることを目的としています。

対象は、主に小学校高学年としており、学校の授業内あるいは、地域のイベント内で開催することを想定しています。

このコンテンツは、参加者が「ナゾときカイゴ探偵団の新人探偵として、超高齢社会を支えるカイゴ・パワのナゾを調査する」という設定(ストーリー)で介護についての学習・体験を実施します。

プログラムの構成は、高齢者のかかわりを学ぶ「知識学習」パートと介護の技術を体験する「体験学習」

パートに別れており、参加者は手元の「情報ファイル」を見ながらナゾを調査していきます。

実施にあたって、市町社会福祉協議会、三重県介護福祉士会をはじめとする職能団体等に運営の協力を依頼し、連携を図っていく予定です。

また、コンテンツの作成・実施においては、他県で実績のある株式会社Rangerに再委託しサポートを得ています。

なお、今年度は、プレ開催として県内2か所の小学校で実施します。

プレ開催の様子

令和6年12月17日(火)に松阪市立松尾小学校にて第1回のプレ開催を実施しました。

当日は、6年生の生徒42名が参加し、楽しみながら介護の仕事について学んでいただきました。

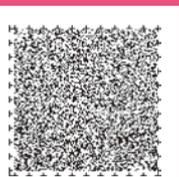


▲介護のプロに教わりながら立ち上がり介助の体験中

▼車いす介助の体験中



▲介護の仕事を調査中



Uni-Voice音声コード

▼介護の仕事についてわかったことを記入中



▲介護に関する〇×クイズに挑戦中

他団体との連携

今回のプレ開催にあたり、松阪市社会福祉協議会には、学校選定から相談に乗っていただき、当日スタッフ、備品貸与までご協力いただきました。三重県介護福祉士会には、当日スタッフおよび多数の車いすの貸与について調整いただきました。介護のプロから介護技術などを伝えていただくことで、参加者に「介護する側」の魅力を発信する機会になりました。

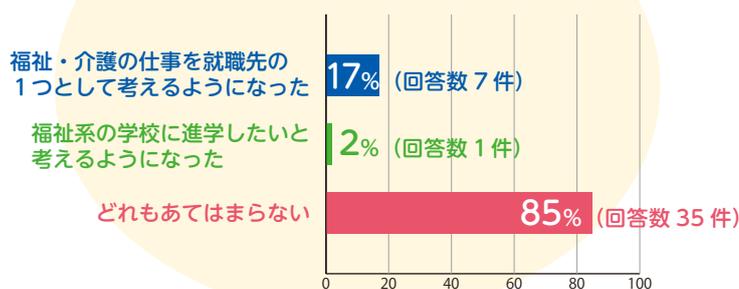
効果・成果

アンケートでは、参加者の95%が「福祉・介護の仕事に対して興味を持った」と回答しました。**グラフ①**さらに、参加者の17%が「福祉・介護の仕事を就職先の1つと考えるようになった」と回答しました。**グラフ②**参加者からは、左記のようなコメントをいただきました。

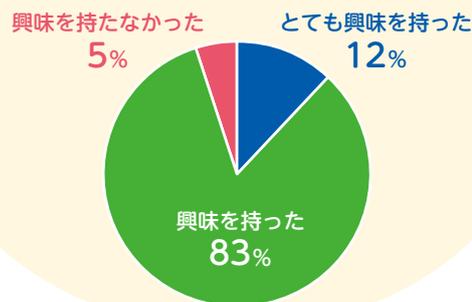
車いすの使い方や、介護職員の仕事のことなどはじめてのことを色々知れてよかったです。

謎解きをしながらだと介護の事を進んで知りたくなる。

② さらに **17%**が福祉・介護の仕事を就職先の1つとして考えるようになったと回答（複数回答可）【N=41】



① 参加者の **95%**が福祉・介護の仕事に対して興味を持ったと回答【N=41】



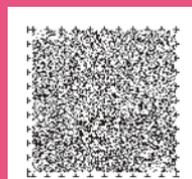
令和7年度以降は、各地域で展開する予定です。また、市町社会福祉協議会等と連携し、学校に限らず、地域や介護施設内での開催も視野に入れて進めていきたいと考えています。（PR動画作成中）

「うちの施設でやってみたい」「もっと詳しく知りたい」という方は、事務局までお問い合わせください。（☎059-1227-15160）

このプログラムは、プロの介護職から介助方法などを学ぶ内容なので、介護に関わる他団体との連携は不可欠です。今後、各地域で開催する際には御協力をお願いいたします。

今後に向けて

また、本コンテンツは、介護の仕事に興味を持つきっかけにはなりますが、「介護の仕事を就職先にしたと思うようになる」という意識変容までは難しいということがアンケート結果より分かりました。今後、就労意識を高めるには別のアプローチが必要かもしれません。



Uni-Voice音声コード

日本ペースメーカー友の会三重県支部設立 30 周年記念講演会のご案内

日 時 令和7年5月18日(日) 10時~正午 9時半受付
場 所 じばさん (四日市市地場産業振興センター)
講 演 者 めいほう睡眠めまいクリニック 中山明峰 院長
題 目 良き睡眠・良き人生
募集人数 約40名
料 金 無 料
事前申込 下記連絡先にお電話ください
連 絡 先 奥野光子 TEL 0596-22-0426 FAX 0596-22-0432

事業所の苦情解決体制 見直してみませんか？

こんにちは！三重県福祉サービス運営適正化委員会事務局です。
当委員会は、福祉サービスにかかる外部の苦情相談窓口として、社会福祉法に基づいて設置されている機関です。

また、苦情解決の面から福祉サービスの質の向上を図るという目的を持つことから、次のような取り組みを行っています。

- 事業所の苦情解決体制の整備について助言
- 事業所向けの苦情相談・解決に関する研修

苦情受付・解決体制について第三者の目からチェックをしてもらいたい、苦情に関するテーマで職員研修を考えているといった事業所様がありでしたら、運営適正化委員会事務局までご相談ください。

三重県福祉サービス運営適正化委員会事務局 (三重県社会福祉協議会内)
TEL 059-224-8111 FAX 059-213-1222 MAIL ansin@miewel.or.jp



令和7年度 福祉みえ特集テーマ&表紙写真募集

本誌で令和7年6月号以降に取り上げる特集のテーマを募集します。

最近の福祉を取り巻く状況や気になることで「こんなテーマがあったらいいな」をお寄せください。

また、表紙に掲載する写真も引き続き募集しています。

特集テーマ募集



表紙写真募集

テーマは
「旅行先の景色や思い出」
三重県内の風景や美味しいもの、
おすすめスポットなどを
ぜひ、おすそ分けください！

写真の投稿はこちらから >>>

あなたの写真が世界への冒険を共有し、
福祉の魅力を広める一役を担うかもしれません！



◀ キッチンのみなさん

▼ ホールのみなさん

連載
第3回

福祉レストラン

三重県では、障がい者就労支援の一環として、さまざまな障がいのある人が自分らしい働き方を選択し、その適性に応じて能力を十分発揮することが出来るような取組をされているカフェやレストランがあります。本誌では、そんな取組をされているお店にお邪魔し、連載企画としてご紹介します。

第3回目は、店員がはずかしがり屋でまちがえてしまうかもしれないけど、ま、いいかと思っちゃうカフェレストラン、略して“シャイカフェ”へうかがい、奥田施設長に、魅力を存分に語っていただきました！

Q1 お店のこだわりは？

A1 スタッフには、長時間立ちっぱなしでいることが難しい人もいます。そこで、配膳などが終わってから座れるような椅子をカウンター前に設置しました。お客様もその様子を温かく見守ってくれています。

カフェレストランを営業する以上、料理にはこだわっています。また、デザートで提供しているシフォンケーキは、テイクアウトも可能で、お土産に購入されるお客様も多く好評です。「まちがっても、ま、いいか」というコンセプトを掲げているので、来店してくれるお客様も理解があり、お客様と一体となったお店だと思えます。

Q3 おすすめメニュー紹介

A3 おかずを何種類も楽しめるシャイカフェプレートや、飽きがこないよう工夫されている日替わりランチ（この日のメインは「揚げ白身魚」）がお勧めです。どちらもシフォンケーキとドリンクがセットになっています。



食後のデザート&ドリンク

写真はシャイカフェプレート 1,100 円。ほかに日替わりランチ 900 円がある。

Q2 スタッフの働き方について

A2 総勢 15 名で、接客・シフォンケーキ作り・食器ふきを行っています。“シャイ”なスタッフは、最初接客に尻込みする様子も見えましたが、接客業務を「水出し」、「メニュー表出し」、「オーダー取り」……と、その人ができることを大切にすることで、今では自信をもって働いています。特に、お客様とのコミュニケーションを重視しており、オーダー票をお客様に見てもらうことで助けていただき、いまの注文スタイルに落ち着きました。セットメニューにすることで、スタッフがお客様と何回もやりとりができるようにしました。

小さなお子様連れのお客様が来店されたときには、スタッフのちょっとした行動が場を和ませてくれます。日々のお客様とのやり取りによって、スタッフ自身にもよい変化が表れています。

Q4 今後の展望

A4 お客様からは、「ここにきて癒される」、「皆さん頑張っているね」といったお声をいただきます。親子サロン・地域のお祭りなどもお店で開催されるなど、地域に開かれた場所になりつつあるように思います。福祉施設という面の強みを生かしつつ地域に貢献し、地域から愛されるお店にしていきたいです。

◀ 取材班も美味しくいただきました。丁寧な味付けがされていて、ボリュームもあり満足感のあるランチです！



お | シャイカフェ (社会福祉法人あゆみ)

店 | 〒514-1102 三重県津市久居藤ヶ丘町 2656-18
情 | TEL 059-269-5104 (予約は電話のみ受付)

報 | 営業時間 11:00 ~ 14:00 (L.O 13:30)
定休日 日・月・祝日 (臨時休業あり)

Instagram @shycafe2022

令和6年度

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します!



ホームページでも内容を紹介しています
<https://www.fukushihoken.co.jp>



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン 1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、
動産総合保険、費用・利益保険)

1 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等の各種費用	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)		基本補償(A型)
基本補償(A型)	定員	
	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	以降1名~10名増ごと	1,500円
見舞費用付補償(B型)	基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】	
	定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円	

2 個人情報漏えい対応補償 3 施設の什器・備品損害補償

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 医務室の医療事故補償
- オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
- オプション4 ● 借用不動産賠償事故補償
- クレーム対応サポート補償

プラン 2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- 1 入所型施設利用者の傷害事故補償
- 2 通所型施設利用者の傷害事故補償
- 3 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン 3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- 1 職員の労災上乗せ補償
使用者賠償責任補償
- 2 役員・職員の傷害事故補償
- 3 役員・職員の感染症罹患事故補償
- 4 雇用慣行賠償補償



プラン 4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

(引受幹事) 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(S2J23-11446 より抜粋)





ありがとうメッセージ

～ 心も一緒に届いています ～

社会福祉法人 名張市社会福祉協議会

令和5年度実施事業

広報啓発事業

名張市社会福祉協議会では、ボランティア活動と共同募金を啓発するイベント事業を実施しています。

日頃活動されているボランティアの方同士や市民の方々が交流を通じてボランティア活動に参加するきっかけづくりとなることを目的として、「ふれあいフェスティバル」を開催しました。スタンプラリーの実施や

共同募金配分金で運営しているおもちゃ図書館を解放したほか、ボランティアの方による絵本の読み聞かせを実施したところ、たくさんの笑顔があふれていました。

募金にご協力いただいた市民の皆さま、ありがとうございました。



社会福祉法人 川越町社会福祉協議会

令和5年度実施事業

障がい者交流事業

川越町社会福祉協議会では、町内在住の障がい者の方々を対象に参加者や社協職員との繋がりを築き、深める機会とする交流事業を実施しています。

令和5年度は、障がい者手帳をお持ちの方や障がい者福祉事業所をご利用されている方を対象に、「障がい者交流会」として、ポッチャ大会・ミニ運動会・曲に合わせてダンスするイベントを計3回開催したところ、延べ120名の方が参加され、大変賑わいました。

募金へのご協力ありがとうございました。



発行人 井村 正勝

編集人 横田 浩一・広報委員会

発行所 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

〒514-8552 三重県津市桜橋2丁目131

TEL : 059-227-5145 FAX : 059-227-6618

URL : <https://www.miewel-1.com/> E-mail : info@miewel.or.jp

編集協力 株式会社アイリック

2025年2月号(通巻402号) 令和7年2月発行

「福祉みえ」は三重県社協のホームページでもご覧になれます。また、広報に関するご意見・ご感想は、E-mailにて受け付けております。